

**市民ボランティアと調べる「日本固有のタンポポ全国調査プログラム」
日本固有のタンポポと外来タンポポの地理的分布などの解明へ
誰でも手軽に参加できる！市民ボランティア募集中（調査期間 4～6月末まで）**

認定特定非営利活動法人 アースウォッチ・ジャパン〔本部：東京都文京区（東京大学キャンパス内）、理事長：浦辺 徹郎（東京大学 名誉教授）、以下 アースウォッチ・ジャパン〕と国立大学法人 横浜国立大学（本部：神奈川県横浜市、学長：梅原 出、以下 横浜国立大学）は、RGA リインシュアランスカンパニー日本支店（以下 RGA 日本支店）の協賛により、日本固有のタンポポと外来タンポポの地理的分布などの解明に向けた「日本固有のタンポポ全国調査プログラム」を今月から開始することをお知らせします。

■調査プログラムの実施背景

いつも道端や空き地で見かけるタンポポは、身近な存在でありながら、実は科学的に解明されていないことが多い植物です。この調査プログラムでは、地域ごとに固有の日本在来タンポポを全国から集め、在来タンポポと外来タンポポの地理的分布や雑種個体の頻度などを明らかにしていくことを目的としています。



関東地方固有のカントウタンポポ

日本は、地域ごとに約 30 種類ものタンポポが自生しているタンポポ王国です。日本固有のタンポポも多く存在します。都市部にまだ自然が残されていた頃には、在来タンポポは街の中にも存在していました。しかし都市化が進むと、より生育環境や繁殖特性が合っていた外来タンポポに置き換わり、今ではあまり見かけることがなくなりました。

2015 年に策定された「我が国の生態系等に被害を及ぼす恐れのある外来種リスト（通称：生態系被害防止外来種リスト）」には 429 種類の生物が掲載され、重点対策外来種の 1 つに「外来性タンポポ種群」も挙げられています。一方で外来タンポポも、いまや日本の生態系の一部として機能しているとも言われています。

日本における「生物多様性 4 つの危機」には、①人間活動による危機、②自然に対する働きかけの縮小による危機、③人間により持ち込まれたものによる危機、④地球環境の変化による危機、が挙げられています。この調査では、3 つ目の危機「人間により持ち込まれたものによる危機」の程度を、日本在来のタンポポと外来タンポポの地理的分布や雑種個体の頻度などから明らかにしていきます。

《「日本固有のタンポポ全国調査プログラム」実施計画》

時期	内容	
2024年4～6月末	在来タンポポ調査	アースウォッチ・ジャパンの会員を含めた一般市民 500 名以上に案内等を配信中
2024年7～8月	収集したタンポポの花粉を分析	全国各地から集まった在来タンポポの花を相模原市立博物館で市民とともに分析
2024年xx月頃	成果報告会	市民ボランティアへの報告会を実施 相模原市立博物館でも展示・解説予定

■「日本固有のタンポポ全国調査プログラム」の概要

主催者	認定特定非営利活動法人 アースウォッチ・ジャパン RGA リンシユアランスカンパニー日本支店（協賛）
担当研究者	横浜国立大学 総合学術高等研究院生物圏研究ユニット 教授：倉田 薫子（くらた かおるこ） 植物系統進化学・植物地理学・植物分類学専門。植物の形態・保全・適応進化などの研究活動に取り組む。 相模原市立博物館 学芸員（生物担当）：秋山 幸也（あきやま こうや） 本調査の共同研究者。生態学・環境教育がご専門。相模原市自然環境観察員制度における市民参加調査の調査設計やアドバイザーを担当。
調査期間	2024年4月～6月30日まで
ボランティア参加方法	どなたでも無料でボランティアとして参加可能です。 タンポポの採取方法は以下のとおりです。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 在来タンポポを見つけて、花の部分を1つ採集 2. 観測した場所の緯度経度をスマートフォンで調べる 3. 観測者名・在来タンポポを採取した日にち・観測場所の緯度経度を調査票に記録 4. ウェブサイトに掲載されている調査フォームに3の情報を入力して送信 5. 採取した花と調査票を封筒に入れ、120円切手と宛名ラベルを貼って郵送 採取したタンポポの提出先等は以下のサイトにてご確認ください。 https://www.earthwatch.jp/?product=tanpopo

【主任研究者からのメッセージ】

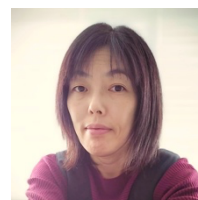
いつも道端や空き地で見かけるタンポポ。日本は、地域ごとに約30種類ものタンポポが自生しているタンポポ王国です。日本固有のタンポポもたくさんあります。その昔、都市部にまだ自然が残されていた頃には、在来タンポポは街の中にも存在していました。しかし都市化が進むと、より生育環境や繁殖特性が合っていた外来タンポポに置き換わり、今ではあまり見かけることがなくなりました。

では、いつも見ているタンポポは、何者なのでしょう。

カントウタンポポやカンサイタンポポのような在来タンポポは、他者との花粉の交換によってはじめて種子が実ります。一方で外来タンポポは、他の個体の花粉を必要としない「無融合生殖」で種子を作ることができます。そのため単独でも種子が実り、花期も長く、1個体あたりの花の数も多いので、あっという間に個体数を増やすことができます。さらに、在来タンポポに花粉を送り、雑種個体をつくって、在来タンポポの性質や遺伝子を別のものに置き換えてしまっているのです。

今や、街なかで見かけるタンポポの85%以上が雑種個体であるとも報告されています。地域固有のタンポポは、その地域独自の進化を遂げてきた貴重な宝ともいえます。それが知らぬ間に違うものに変容していたとしたら…？

2015年に策定された「我が国の生態系等に被害を及ぼす恐れのある外来種リスト（通称：生態系被害防止外来種リスト）」には429種類の生物が掲載され、重点対策外来種の1つに「外来性タンポポ種群」も挙げられています。一方で外来タンポポも、いまや日本の生態系の一部として機能しているとも言われています。外来種問題を考えるきっかけとして、また地域の自然を見つめなおす機会として、身近なタンポポを観察してみましょう。



横浜国立大学総合学術高等研究院
生物圏研究ユニット 教授：倉田 薫子

【協賛企業のコメント】

認定特定非営利活動法人 アースウォッチ・ジャパンと国立大学法人 横浜国立大学が実施する調査プログラムについて、RGA 日本支店がご支援できることを大変嬉しく思います。環境問題に理解を深め、持続可能な開発を促進する活動に RGA 日本支店の社員が参画する機会を頂き感謝しています。RGA は社会的責任に対するコミットメントを重視しております。この度の協賛を通して、生物多様性という重要な課題を我々も身近な問題と捉えることができ、地球規模の環境変化が人間の生活に及ぼす影響に対する理解や対策への第一歩につながる研究にお力添えできれば幸いです。プラネタリーヘルスや人類の未来へ向かってビジョンを共有する皆様と協業する機会を頂き大変光栄に存じます。



RGA リインシュアランスカンパニー日本支店
日本における代表者兼最高経営責任者 高橋宏典

<参考情報>

■「認定特定非営利活動法人 アースウォッチ・ジャパン」について

アースウォッチは、1971年に米国ボストン市で設立された国際環境 NGO です。地球環境の変化、生物の多様性と生息地、人類の文化遺産など、多くの人手と時間及び費用を必要とする野外調査に一般市民ボランティアを募る仕組みを創出し、創設以来、世界規模で実践を続けています。地球環境に対する理解及び必要な活動の促進に向けて、科学的な野外調査研究に一般市民を参加させるとともに、人類の持続的な未来を可能にする科学的データベースおよび知的資産を構築するための研究開発を支援することをミッションとしています。アースウォッチ・ジャパンは、アースウォッチ・インスティテュートの活動を日本に拡大する目的で 1993 年 1 月に設立されました。

名称	認定特定非営利活動法人 アースウォッチ・ジャパン
設立	1993 年 1 月 25 日 (2013 年 4 月：認定特定非営利活動法人 認定)
本部	東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学キャンパス内 農学生命科学研究科フードサイエンス棟 4 階
代表者	<small>うらべてつろう</small> 理事長：浦辺 徹郎 (東京大学 名誉教授)
活動概要	・海外野外調査プログラムへの日本人ボランティアの派遣 ・日本国内野外調査プログラムの企画・運営 ・セミナーやイベントの開催 ＜研究者の講演会など＞ アースウォッチ・ジャパンが主催する野外調査プログラムの主任研究者による研究成果報告会
WEB	https://www.earthwatch.jp/

■「横浜国立大学」について (Web サイト <https://www.ynu.ac.jp/>)

横浜国立大学は、四つの旧制学校を母体に 1949 年に新制大学として設立した国立総合大学で、建学以来の歴史の中で育まれてきた「実践性」「先進性」「開放性」「国際性」を理念として掲げるとともに、一人一人の在り方を尊重し合う「多様性」を重んじています。グローバルな巨大都市横浜にありながら緑豊かで広大なワンキャンパスに、人文系、社会系、理工系という 3 分野が集う機動性を活かして特色ある大学改革とイノベーションを推進し、知の統合型大学として世界水準の研究大学を目指しています。

■「RGA」について

Reinsurance Group of America, Incorporated (ニューヨーク証券取引所コード: RGA) は生命再保険および財務ソリューションに特化し、お客様のリスク管理や資本最適化を支援する世界有数の生命再保険会社です。1973 年に設立し、今日ではグローバルに認められる世界最大級の再保険会社になり、世界で最も賞賛される企業にも選ばれています。RGA は「すべての人に経済的な安心をお届けする」をパーパスに掲げ世界の市場で事業を展開するなか、革新的なイノベーション、確固とした実行力、献身的な顧客対応を通してパートナーを支えることで、持続可能な長期的価値を創造しています。RGA は 2023 年末時点で再保険引受保有額約 3 兆 7000 億ドル、総資産 976 億ドルを有します。

また、RGA は 1995 年に東京駐在員事務所を設立し日本での事業を開始しました。2023 年には外資系再保険会社として初めて監督当局の認可を取得し「日本支店」を設立。現在では、個人生命再保険、第 3 分野再保険、団体生命再保険を含む、総合的な商品・サービスを提供しています。RGA 日本支店は、財務ソリューションの分野で業界をリードし、商品開発、任意再保険、引受査定における専門性も高く評価されています。

ホームページ <https://www.rgare.com> / 投資家向けのページ <https://investor.rgare.com/>
[LinkedIn](#) や [Facebook](#) の当社公式アカウントもご参照ください。

【報道機関 お問い合わせ窓口】

アースウォッチ・ジャパン 理事（広報担当）：長沼 史宏

電話：080-7834-0841 / E-mail: fnaganuma@asteria.com